



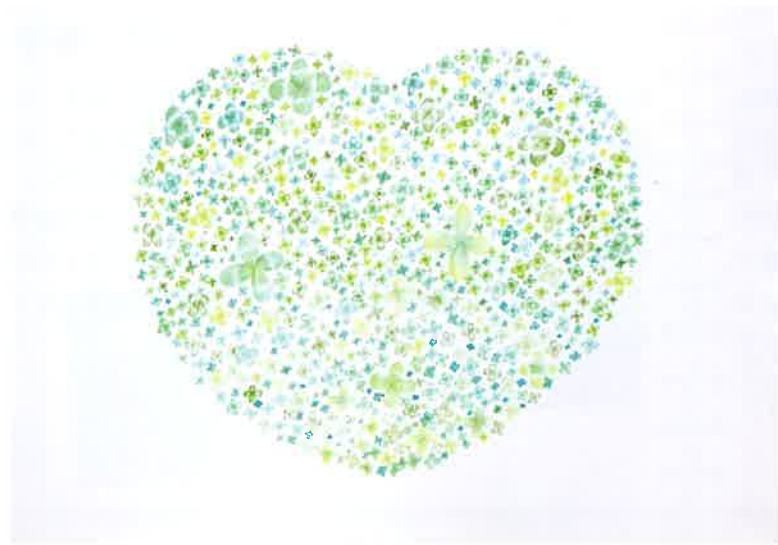
# 道しるへ

令和6・8  
No.66

「この道の向こうには、夢がある」

## 令和5年 おやこdeアートin京セラギャラリー(絵画作品展)の作品から

京セラ賞



優秀賞



- あいさつ、新役員紹介..... P2
- おやこ de アート in 京セラギャラリー ..... P3
- 楽しいがいっぱい..... P4 ~ 5
- こどもの居場所づくり事業..... P6
- 母子部地域別交流会、ブロック別懇話会、知っとコーナー..... P7
- おしらせ、あとがき..... P8



### 母子と寡婦と地域と一緒に



京都府母子寡婦福祉連合会 会長 常塚 朋子

京都府母子寡婦福祉連合会の会長をお受けすることとなりました。母子会が結成され、70年以上の年月が経ちましたが、取り巻く環境は依然として厳しいものです。そのような中で不安もありますが、諸先輩方がつないでこられた道を、さらに次の世代につないでいきたいと考えております。

られません。その子どもたちを支えるために、同じように不安を抱え苦勞をしてきた仲間として、奮闘する母も支えていきたいと思うところです。

地域で活動するにあたり、相手を思いやり、人とのつながりを大切にすることを大事にしてきました。母子、寡婦、さらには地域が一丸となり、これからの母子寡婦福祉が今以上に充実したものとなるよう、みんなで進めてまいりましょう。

最後になりましたが、いつも温かい御支援をしてくださる西脇知事様はじめ関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。

こどもの居場所事業で子どもたちと触れ合っておりますと、この子たちの未来が輝かしいものとなることを願わずにはい

### 会長退任のごあいさつ

連合会の会長に就いた令和2年、人類が経験したことのない新型コロナへの対応が求められ、全ての行事は中止・縮小せざるを得ないという船出でした。支会長・会員・理事・事務局の皆様の温かいご支援とご協力で、在任中は大過なく様々な活動が実施できましたことを心より御礼申し上げます。

6月14日を持ちまして会長を退任いたしました。皆様と共に過ごした日々を思い起こすと、子どもたちの元気な声や笑顔、お母さんと泣きながら話したことなどが走馬灯のように

佐竹 幸子

めぐります。「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」と武田信玄が詠んだように、「人」が重要で、人のつながりや信頼関係の大切さを痛感した4年間でした。

今後は常塚新会長を先頭に、先輩方が築いてこられた宝物を活かし、新しい道を拓きつつ、より良い会を築いてください。京都府母子寡婦福祉連合会の益々のご発展を会員として見守ってまいります。

### 就任のごあいさつ



京都府ひとり親家庭自立支援センター副センター長 田中 滋

本年4月から京都府ひとり親家庭自立支援センターの副センター長に就任いたしました田中 滋と申します。令和2年4月から3年間、当セン

ターで勤務しましたが、この度、縁あって戻ってまいりました。微力ながら、就業支援やひとり親家庭の自立に向けた支援に努めてまいりますので、お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

### 新役員紹介

～令和6年6月連合会の役員が改選されました～

#### 京都府母子寡婦福祉連合会 役員

- 理事(会長) 常塚 朋子 (舞鶴市 支会長)
- (副会長) 谷山 和子 (京丹波町 支会長)
- (副会長) 眞鍋 幸子 (綴喜 支会長)
- 小玉 光子 (木津川市 支会長)
- 早栗 百合子 (宮津市 支会長)
- 吉崎 由美 (綾部市 支会長)

#### 常務理事

白敷 宗雄 (京都府母子寡婦福祉連合会事務局長)

#### 母子部役員

- 母子部長 神村 有美 (綴喜 支会 母子連絡員)
- 副部長(北部) 足立 清美 (宮津市 支会 母子連絡員)
- (南部) 松田 直子 (長岡京市 支会 母子連絡員)
- (中部) 平田 栄美子 (南丹市 支会 母子連絡員)

京都府ひとり親家庭自立支援センター相談員の異動 \*新任\* 大西 伊久美 村上 友美 よろしくお願ひいたします

## おやこ de アート in 京セラギャラリー

昨年のおやこ de アート in 京セラギャラリーを振り返ってみましょう



「チョコレート」



「大好きな家族」

6月6日(火)

初めての絵画展なので、作品が届くかドキドキしていましたが、母子連事務局に作品第1号が届きました。

2つの作品は、福知山の方から送られてきたものでした。

この作品から始めて、93作品が集まりました。



8月7日(月)

京セラ本社にあるギャラリーで展示が始まりました。いつもはピカソの版画が展示されているのですが、展示期間中はこの版画を外して、みんなの絵を展示してくださいませ。

床がピカピカで、輝いていました。



8月10日(木)

城陽市母子寡婦福祉連合会は、こどもの居場所づくり事業の一環で、京都府農林センターの施設見学とおやこ de アート in 京セラギャラリーを、バスを借りて見にいけました。



8月21日(月)

京セラ本社ビル内で優秀賞10作品の表彰式がありました。

表彰式の後にみんなで作品展を見に行きました。

審査委員長の村田先生に作品のことを詳しく聞いていた方がありました。今度の作品がとても楽しみです。



11月2日(木)から3月まで

京セラ本社ビルにある社員向けカフェ『mimosa』にて出展作品の展示をさせていただきました。

カフェを利用するみなさんに、家族を思い、ほっこりする時間を提供することができました。



今年も、水彩絵の具やクレヨン、色鉛筆、シンプルな鉛筆のみの作品など、みんなの「大好き」が集まりました。ぜひ、会場へ足をお運びください。



いきいきふれあい事業

親子のふれあいと参加者相互の交流を目的とし、京都府及び京都新聞社会福祉事業団から後援・助成を受けて、楽しい企画を実施しています。

災害に対する備えを学ぶ機会

京丹波町母子寡婦福祉会 谷山 和子

京丹波町母子寡婦福祉会は、京都市市民防災センターと『atelier 京ばあむ（洋菓子工場見学）』に行ってきました。新しく入会されたご家族の参加も多くありました。

京都市市民防災センターでは、風速32メートルの強風体験、震度4~7の横揺れの地震体験、突然くるかもしれない災害の怖さを身をもって体験し、そんなときはどうしたらいいのか、対策などを学ぶことができました。

怖い体験だけでなく、実際に使われていたヘリコプターの展示では操縦体験ができたり、ゲーム感覚で楽しめる『出動！！こども消防隊』では子どもたちが夢中で『火事のためご』をやっつけたりしていました。

『atelier 京ばあむ』では、おいしさの秘密や出来上がるまでの様子を、展示と工場の両方で見学しました。

災害に対して、日頃から備えておくことが大事だと、みんなで考えた体験の一日でした。



初めての体験に目を輝かせて

宮津市母子寡婦福祉会 早栗 百合子

宮津市母子寡婦福祉会は、城崎マリンワールドと出石のそば打ち体験に行ってきました。3歳から高校生までの子どもさんが参加してくれました。

城崎マリンワールドではアジ釣体験をしました。釣り針に餌付けするのも、釣れた魚を触るのも初めてで、始めのうちは魚に触るのにも躊躇して、お母さんに魚を取ってもらっていましたが、何匹も釣っているうちに手で触るのも鱗がついても全然平気で、何匹釣れるかと一所懸命でした。自分の釣ったアジを目の前でさばいてもらって、天ぷらが揚がっていく様子をワクワクと目を輝かせて見ていました。

出石のそば打ち体験では、大きなそば切包丁を巧みに使って細く綺麗に切っている子どもさんがいて先生に「おとなより上手だね」と褒められ、はにかんで喜んでいる様子がありました。

子どもたちだけでなく、お母さんたちの笑顔が見られたことがうれしかったです。



食料品・生活必需品配布事業

物価高騰や長期化するコロナ禍により困窮するひとり親家庭等を支援するため、京都府のこどもの居場所事業のひとつとして、令和3年度から食料品・生活必需品配布事業が実施されています。京都府母子寡婦福祉連合会もこどもの居場所を中心としたこの事業に取り組み、物品の配布を行っています。

土日の仕事で、お昼ご飯を一人で食べさせることがあるのですが、「これだったら自分で準備して食べられるよ！」と子どもに心強い言葉をかけてもらいました。

お菓子もうれしかったです。あまり買ってもらえないので。

お母さんが遅い時、私でもお湯を注いで食べることができるし、おいしいからうれしかったです。

普段は高いし、買うのをやめるところもあります。子ども達も大喜びで覗いていました。たくさんの方に支えていただいています。感謝しかありません。

生活に気持ち的に余裕ができました。心配することが少し減りました。みなさんが居場所をがんばって開催してくださり、感謝しています。

日用品は必ずいる消耗品で助かります。食料品はおいしそうやから、今度料理してみたいです。インスタント食品はパツとできて助かるが、高く買いにくい。本当に助かるものばかりでうれしかったです。

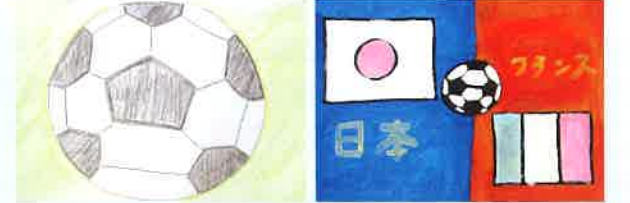


招待行事

5月19日（日）京都サンガF.C. ハートフルシート（supported by JR西日本）として、サンガスタジアム by KYOCERA（亀岡市）でサッカーの試合観戦をすることができました。

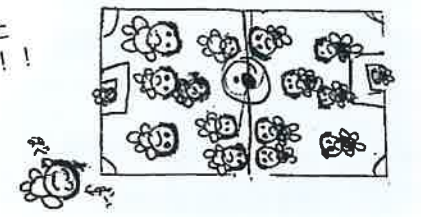
参加されたみなさんの感想を御紹介します。

- ・がんばるぞ サンガ つぎこそぜったいかつぞ
- ・普段、仕事でなかなか子どもと触れ合う時間がとれなく、触れ合う時間を作ることができてよかったです。
- ・大きなスタジアムや歓声に大変興奮し喜んでいました。特に息子はサッカーを習っており、今後の励みになったようです。
- ・親子共々、初のスタジアム・初のサッカー生観戦に感動・興奮しました。自分達では行くことのなかったサッカー観戦に行けて本当によかったです。



昨年のおやこ de アート in 京セラギャラリー応募作品から

イラストを描いてくれたおともだちも！！



独自事業

毎年3月に「知事と新入学児童等のつどい」を開催しています。京都府知事が一緒にダンスをしたり、知事から記念品をくださったりして、4月から小学校に行くお友だちをお祝いしていただきます。参加された方の声を紹介します。

- ・目覚まし時計は気に入ったようです。それを使って、自分で起きる！とがんばってます。
- ・普段、経験することができない知事とのゲーム大会や写真撮影などとても素敵な思い出になり、とても楽しかったです。
- ・普段ふれあうことのない知事とふれあうことで、子どもたちも自分たちの入学をいろいろな人が支えてくれていると感じたのではないかと思います。



2月18日（日）に母子寡婦福祉指導者研修会をハートピア京都（京都市中京区）で行いました。基本テーマを「発達障害児等の特性と対応について」とし、現場で活動されている村上貴美氏（放課後等デイサービス「きりん」施設長）にご講演をいただき、その後、小グループに分かれてグループワークを行いました。

馴染める環境づくりが大切

宇治市連合母子会 北野ますみ

研修会では、発達障害のお子さまとの接し方を学びました。講師の話によると、発達障害では、早期発見・早期支援開始が将来を左右するとのことでした。個人差が大変大きいので、ひとりひとりのお子さまの特性をよく観察して理解を深めることが重要です。

また、馴染める環境づくりが大切だということでもありました。今後の母子会の活動、特にこどもの居場所事業に取り入れていければ、より充実した活動に繋がると感じました。

グループの意見交換会において出された意見には、お子さまは発達障害の検査を早期に受けることができるけれども、お母さんたちが子どもだった頃は発達障害の検査を受けるという機会もなく、お母さん自身が発達障害と気づかず、仕事・人間関係が上手くいかず、環境に馴染めない状況となっているケースがある等の体験談もありました。

状況把握に努め、必要であれば関係機関への連携も考慮し、信頼関係を構築できるような環境づくりが重要であると感じました。



各地域での行事のお知らせ

母子部交流会

- 北部 9月29日（日）  
大宮アグリセンター  
消しゴムハンコ作り
- 中部 9月1日（日）  
亀岡市交流会館  
スポーツクライミング体験
- 南部 6月9日（日）  
永守重信市民会館  
料理体験

ブロック別懇話会

- 北部 9月29日（日）  
大宮アグリセンター  
出前講座「デートDV防止講座」
- 中部 7月13日（土）  
京丹波町役場  
「よっちゃんの紙芝居」
- 南部 11月開催予定

当日の様子は次号でお知らせの予定です。



## こどもの居場所づくり事業

### 令和6年度 こどもの居場所づくり事業

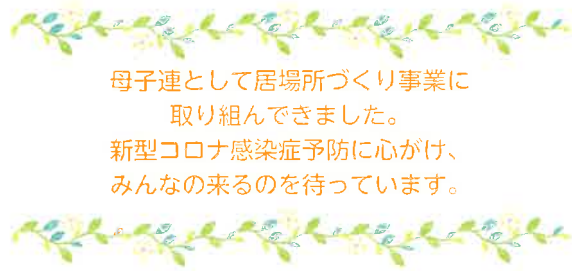
夏休み等短期型 (夏・冬・春の長期休暇期間で15日以上)

事業名	実施場所	実施日
八幡市こどもの居場所づくり事業	八幡市社会福祉会館	夏休み、冬休み等の日曜日等
福知山市こどもの居場所づくり事業	福知山市総合福祉会館	夏休み、冬休み等の土曜日・日曜日等
相楽地域こどもの居場所づくり事業	精華町地域福祉センター かしのみ苑	夏休み、冬休み等の土曜日

休日等通年型 (年間50日以上)

事業名	実施場所	実施日
向日市こどもの居場所づくり事業	永坪会館	毎週水曜日
大山崎町こどもの居場所づくり事業	大山崎町中央公民館	毎週水曜日
長岡京市こどもの居場所づくり事業 (パンパーガーデン)	長岡京市東和苑 (つなぐさん家)	毎週土曜日
城陽市こどもの居場所づくり事業	城陽福祉センター他	毎週日曜日
京丹波町こどもの居場所づくり事業 [TMW]	京丹波町庁舎 中央公民館 他	毎週水曜日・土曜日

新型コロナウイルスの感染防止の状況によって、実施日時が変更となる場合があります。



母子連として居場所づくり事業に取り組んできました。  
新型コロナ感染症予防に心がけ、みんなの来るのを待っています。

生活充実通年型 (年間100日以上)

事業名	実施場所	実施日
宇治市こどもの居場所づくり事業 (宇治北部)	宇治市五ヶ庄三番割集会所 (おうばく塾)	毎週火曜日・水曜日・金曜日
宇治市こどもの居場所づくり事業 (宇治南部)	宇治市玉池集会所	毎週金曜日・土曜日
木津川市こどもの居場所づくり事業	木津川市木津町南垣外17-1	毎週火曜日、土曜日
舞鶴市こどもの居場所づくり事業 (東舞鶴)	南公民館	毎週金曜日・日曜日
舞鶴市こどもの居場所づくり事業 (西舞鶴)	西公民館	毎週火曜日・土曜日

## 母子部地域別交流会・ブロック別懇話会・知っとコーナー

### 母子部地域別交流会

支会の枠を越えて、北部・中部・南部の地域毎に、母子会員が調理実習や工作、懇話会等を通して交流する機会を作り、会員相互の連絡や協力を密にすることを目的に活動しています。

#### 北部

令和5年7月23日(日)  
参加者21人

舞鶴市母子福祉会 甲斐 友香  
自動車の廃ガラスを原料にした絵の具で絵を描く「ディンプルアート」をしました。ガラスに絵を描き色を塗るとステンドグラスのような仕上がりで、子どもたちも集中して描いていました。  
出来上がった作品はどれも個性的で、作った皆さんも満足されていました。



#### 中部

令和5年11月11日(土)  
参加者26人

綾部市母子福祉会 吉崎 由美  
親子でヨガを体験しました。「体がすっきりした」「肩こりが治りそう」、運動不足を感じている若いお母さんたちからの声です。ヨガの後には懇話会も開催しました。「先輩からの話が聞いてよかった。心強く思った。」と異世代間の交流が喜ばれたようです。



#### 南部

令和5年6月11日(日)  
参加者27人

木津川市母子会 奥村まどか  
「きつづ光科学館ふおとん」で子どもたちに「科学」の興味を持ってもらうと同時に、「他の支会の人と話そうスタンプラリー」を開催しました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちも、みんなで話をする時間を設けたこともあって、交流することができたようでした。



### ブロック別懇話会

平成29年より始まり、北部・中部・南部の地域毎に支会役員や母子連絡員の皆さんが集い、それぞれの地域特性に応じた活動や取組みについての情報交換や勉強会、地域の関係団体との連携強化の取組み等を行っています。

#### 北部

令和5年7月23日(日)  
参加者21人

舞鶴市母子福祉会 森本 真理子  
まいづる環境市民会議の森脇氏に、省エネに関する話を聞きました。電気自動車の普及率を例に、日本とヨーロッパの省エネに対する考え方の違いやコンセントには常に電気が流れていることなどの話を聞き、自分の生活に引き寄せ、改めて考えさせられました。  
後半の意見交流では、市役所や議会へも足を運んでいるために協力してもらっている支会の話などが聞けました。  
日頃は行事への参加も難しいけれど、来れば子どもに関わる時間が作れると喜んでおられる方もありました。



#### 中部

令和5年9月24日(日)  
参加者13人

亀岡市母子福祉会 山内 順子  
健康をテーマとして、『臨床美術』の体験をしました。認知症の予防や症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できるそうです。実際に触り、匂いを感じながら描いたニンジン、どの作品もニンジンらしく、どれもがうまく表現されていました。  
年を重ねると、健康についても気になります。手を使うことが老化防止になるといわれていますが、加えて楽しみながら作品を作ると、脳を活性化させることのできるようです。  
なごやかなで、貴重な体験となりました。



#### 南部

令和5年9月24日(日)  
参加者31人

宇治市連合母子会 齋 朋子  
京都西山短期大学 客員教授 山本氏を講師として、『学校では教えてくれない修学支援制度のお話』から学びました。  
制度に対する幅広い知識を得ることができ、将来、子どもが自立すること(やりたいこと)を見つけることの大切さを理解することができました。  
後半のグループでの意見交換では、参加がなくても発信し続けること、いつでも使えるコミュニティの場づくりなど、各支会の活動の参考にできる意見が活発に出されました。



### ホッと一息つける場所でありたい

木津川市母子会 小玉 光子

最近、クラスの友達に「お前の成績では、危機感を持たなアカン」と声掛けをして、それから一緒に居場所に来ている中学生の子どもたちが、「ここでは気を遣わんと話せるな。」と話しているのが聞こえてきました。なるほど、これも大切な居場所の役割なんだと、強く考えさせられました。

学習支援も夕食の支援も大切な役割ですが、変に気を遣わなくていい、「ホッとできる場所」も居場所の役割です。そんな居場所を運営し続けていくことの必要性を、関わっている大人たちと共有していくことの大切さを痛感しました。

今日は、今年高校に進学した先輩が「最低これだけにはできるようにしとかな」と「やってみよう」と声をかけて、過去の問題集に取り組んでいる様子がありました。こんな風景も居場所ならではの姿だと思います。



### 居場所を開設!

相楽連合むつみ会 巴田 明美

今年から短期のこどもの居場所を始めました。  
7月20日に集まってくれた子どもは3名、2家族です。  
学習支援はもちろんありますが、子どもたちがお母さんやおばあちゃんやお兄ちゃんのために、調理をして食事を提供しました。中には料理するのが初めての子どものさんもあり、一生懸命に、少し多めの20人分を調理しました。

お鍋2個で同じ材料、カレーも同じでも味が違うことに発見! 1人の子どもさんが「こっちは玉ねぎの量が多いから甘いかなあ!」と大発見です。トマトが食べられない子が、「食べてみる!」と言って残さず食べ、お母さんに伝えるとびっくりされていました。

ご飯は大人と同じ量で、「美味しい」「お腹が弾ける」と言いながら完食してくれました。

持ち帰った料理を自宅で留守番していたお兄ちゃんは、「美味しい!」と言って写真を送ってくれました。

家では出来ない、スイカ1個を切って食べたり、とうもろこしを皮ごと蒸したりして楽しみました。

子ども達はみんな次も参加したいと言って、27日も参加してくれるので、新しい子どもさんも増えて6人になります。



### 知っとコーナー

### 京都府ひとり親家庭自立支援センターを気軽に活用しましょう

京都府ひとり親家庭自立支援センターは、ひとり親家庭の方々の就業相談、くらしの相談など自立に向かうための一貫した支援を行っています。

**相談**  
窓口・電話・メール・WEB相談、無料弁護士相談(予約制、ひとり50分程度)

仕事と子育てを両立するには?  
今から養育費の請求できるのかなあ?



仕事に役立つ資格を取れる制度ってあるかなあ?

**資格取得**  
介護職員初任者研修講座  
介護福祉士実務者研修講座  
介護福祉士受験対策講座  
福祉用具専門相談員養成講習  
子育て支援員養成講習会

南部センター(京都市南区 京都テルサ内)  
075-662-3773 boshi@kyoto-jobpark.jp  
月曜日~土曜日 9:00~17:00  
(日曜・祝日・12/29~1/3を除く。水・金曜日は電話相談のみ20:00まで)

北部センター(福知山市 市民交流プラザふくちやま内)  
0773-23-2771 boshi-h@kyoto-jobpark.jp  
月曜日~金曜日 9:00~17:00  
(土曜・日曜・祝日・12/29~1/3を除く)



# おやこ de アート in 京セラギャラリー



すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望をもって成長できることを願い、アートを通じて活躍の場を提供することを目的として開催します。



**日時** 令和6年8月1日(木)～8月30日(金)  
(土日祝日、8月10日～18日休館)

**場所** 京セラ本社ビル1F 京セラギャラリー  
(京都市伏見区竹田鳥羽殿町)

※掲載の4作品は今年の応募作品です。



**今年は100点を超える  
応募がありました！**



## 京都府母子寡婦福祉大会及び 全体研修会

子どもの意見発表や体験談、講演と会場を盛り上げてくれるアトラクション！

みなさん！ぜひお出かけください。

**日時** 令和6年10月13日(日) 13時～16時

**場所** 京都テルサ(京都市南区)



## 「母子会」って いいこといっぱい

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。

令和2～5年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もありましたが、京都府の食料品・生活必需品等配布事業を受けて、会員の皆さんにお届けすることができました。

毎年はいきいきふれあい事業として、バスで出かけて、体験や研修、交流を行っており、他にも各母子会で行事などを開催しています。

同じ境遇、同じような体験をしてきた仲間です。

あなたの近くにも母子会があります。どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問合せは、各地域の母子会、または京都府母子寡婦福祉連合会事務局(電話075-223-1360)まで



「役に立つ母子会」の「読むのが楽しみ」になる会報紙を目指し、気を引き締めていかなければと思っています。

さて、ひとり親家庭にとって見過ごすことのできない「共同親権」の法案が成立。2026年には施行されます。「両親が合意しないと、進学も医療行為も転居もできなくなる？」と心配の声があります。十分検討してほしいです。

ありのままの交流の場としての母子会の活動が続けていけるよう、各地の会員の皆さんもどうぞご協力をお願いいたします。(小玉)

## 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 常塚 朋子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

